

FrontISTR ユーザ会準備会／日本計算工学会 GreenCAE 準備会
で頂いた諸意見

日時・会場 2012/12/4、東大生研 An406

出席者 FrontISTR 開発者、ユーザー、GreenCAE 研究会幹事

記録 文責：奥田（東大）

記号 (F)FrontISTR、(G)GreenCAE、(d)開発者、(u)ユーザー、(m)その他

1. 運営方法について

(F, d)開発もしてるし中身を熟知しているので全面協力します。講演なども。バグ修正、パッチ提供、商用版開発で見つかった共通のバグなどの情報提供を来年度以降でも。

(F, d)Give & Take をちゃんとした方が良い。開発に寄与するとデータが手に入る、売り上げ一部を寄付、サポート工数で寄付など。企業が参加するのは何かの役に立つと思うから。

(F, G) データを提供したらポイントがたまる、メンバーになったら例題データがもらえる。

(u) (フリー会員には) 新バージョンのリリースを遅らす。

(F, G) このアクティビティが役に立つ、継続するためには、最低限スピーカーの謝礼等を稼げるような仕組みが欲しい。良いアイデアはないか？

(F, d) 教育、啓蒙活動はなかなかペイしない。HPC スクールの例では？

(F, d) 開発費は該当機能を欲しい企業で分担する。講師料はセミナー参加費とる。

(F, u) コードに不具合、機能不足があると開発が必要になることが良くある。今のままで十分なユーザも多いと思うが、そうじゃないユーザも多い。そういうところをベンダーが業務で取っていくのも有りだが、ある程度までは公開版で対応しないと普及は難しいのではないか？ 来年度以降もアップデートして欲しい。わずかでも保守料を（FrontISTR 研究会が）貰って、それでアップデート版を有料会員に届ける。それを超える分、特殊な用途向け、他にも対応ソフトが無い場合など、コンサルで請け負うという仕組み。すぐに必要ない人は、最新版と1年タイムラグがあるとか。

(F, d, u) ユーザーにプログラムを提供してもらうのも有りでは？ バグ修正版、機能追加版など。

(F, d) 大学はあまり儲ける気はない。ユーザ会に参加するベンダーへのインセンティブを提供することが、会の継続（＝コードの維持発展）につながる。

(G) JSCES としてのデータ共有もこのアクティビティに含めていきたい。
GreenCAE が他のオープンソース等にも広がっていけばよい。

(G) GreenCAE としての実態が FrontISTR のユーザ会となってしまうのが問題ないか？

(F, G, d) 入り口を分けておく。GreenCAE の入り口→FrontISTR と共通のデータリザバリー。FrontISTR のユーザ会は GreenCAE 共催という形にする。別々の運営は非効率的。JSCES 側は実態としてあれば良いとのこと。いずれにせよ、注意する（奥田）。

2. 本会を設置する目的・メリット・活動内容

(G) 例えば、CFD コード開発をすると皆キャビティ流からやる。その度に各自がメッシュを切っている。すぐダウンロードできれば便利。

(F, d) コードを利用して結果が良いとレポートがない。問題があるときだけ打診がくる。

(F, d) プログラムの中身まで分かるようなマテリアルを用意したい。機械的な API リファレンスではなく、変数の物理的な説明なども。

(G, d) こういう問題をどう解くか？などの疑問に対するコンサルティング。

(F, d) ドキュメント、例題などを WEB にどんどん貯めていくようなスタイル。

(F, d) マニュアルの英語版ができた。「外国で使われている」、ことは大事。海外向けのライセンスについては今後、要相談。

3. 運営の実際

(u) 研究室ウェブみたいな仕組みか？ 今のダウンロードサイトはどう運営している？ 悪意のユーザーがいたらどうする？

(F, d) メンテ頻度は低い（CISS のダウンロードサイトのこと）。Wiki みたいのは簡単に作れるが、危険かも。

4. コンテンツについて

(F, d) 研究室の学生に FrontISTR をインストールするよう言っても、一人ではまず出来ない。

(F, d) 初心者用のコンテンツがあればその溝は埋まるかも。

(F, d) インストーラあっても良いのでは？ マニュアルを読んで使うような時代なのか？

(F, d) Windows 版はインストーラがある。

(u) 開発者がマニュアルを書いてはいけない。そこにかかるお金はあるか？ テクニカルライターに見てもらうのが良い。

(F, d) 以前、第3者（開発に関係していない人）にマニュアルのレビューを受けて、出来る範囲で修正はした。今回、英語版もある。

(G) Florida Matrix Market は行列だから公開するのも楽。CAD データとかはきつくないか？

(G) Florida Matrix Market の行列サイズは小規模。

(F, d) 東大 CISS のライセンスの内容をよく確認しておく必要がある。バグを見つけても公開してはいけない、など。

(F, d) RISS プロジェクトの他のソフトで、GPL に変えたい希望も出ているらしい。ライセンス形態はどういうのが良いか？

(F, d, u) GPL は改良したものを公開するときには必ずソースコードをつけないといけない。非公開部分があってはならない。OpenFoam がその例。たくさん公開されている。

(F, d) そういう点では、共同研究の知的財産権を保護することができず、GPL はあまり良くない。

5. その他、関連意見

(F, d, u) この会は一般の民間企業が対象か？ 役に立つということは課題を持っているということ。例えば、ライセンス料が高いので置き換えたい、大規模解析をやりたい、など。課題、参加する動機が明確、というのが最初に有った方が（何を狙うユーザ会なのか）よい。

(F, u, d) ダウンロードしているユーザ構成をみれば、動機がわかるのでは？ 学生なのか企業なのかで、考えるべき状況は変わってくる。

(F, d) 以下のようなユーザーがいる：

- ・有償ソフトの置き換え（高度な使い方）
- ・普段は著名な商用コードを使っているが、FrontISTR も試してみたい

(F, d) ユーザ会を重ねるなかで様々なユーザーに対応していく。毎回スコープを明確にしておく必要がある。利用事例、ベンダーのサポート事例などは毎回入れたい。ここにすれば何とかサポートして貰えるヒントが見つかりそうだ、という場。

(F, d) 誠実、着実に運営するのはもちろん大事だが、Cloud 対応とかもっと風呂敷広げたアピールをしてもよい。

(u) 大規模性も魅力だが、ライセンス料を安くしたいというニーズも多い。

(F, d, u) セミナーはどこで開催するのか？ ハンズオン（実習）もやるのか？

(F, d) 座学だけなら東大生研が適当。40-50 人規模のハンズオンは大変。2 回目はハンズオンも入れたい。要望があれば、東京以外の地区でも開催も考えたい。

(F, d) HPC スクールのようなイメージか？

(F, d)FX10 までは使わない、もっと手前の PC クラスタで十分。

(G, u)RISS の他のソフトについて、他のユーザ会も立ち上がるのか？ その辺の情報共有はできるのか？

(F, d)ある（別添資料）。その辺は CISS が所掌している。運営の実際は基本的にそれぞれのプロジェクトの裁量。

以上